

平成20年3月期中間決算説明資料





平成19年12月
滝沢ハム株式会社
(ジャスダック・2293)



会社のプロフィール

平成19年3月31日現在

- 商号 滝沢ハム株式会社
- 本店 栃木県栃木市泉川町556番地
- 代表者 代表取締役社長 瀧澤 太郎
- 設立 昭和25年12月
- 資本金 10億8,050万円
- 売上高 333億2,881万円(連結)
- 従業員 498名(連結)



会社の沿革

- 昭和25年12月 会社設立（㈱滝沢武商店） 本店東京都千代田区
- 昭和39年12月 宮城県仙台市に仙台工場を新設
- 昭和41年3月 商号を滝沢ハム株式会社に変更
- 昭和47年2月 栃木県栃木市に泉川工場を新設
- 昭和51年10月 オランダで開催の国際食肉ハムオリンピックで金メダル受賞
- 昭和58年5月 栃木本社事務所を栃木県栃木市祝町から栃木市泉川町に移転
- 昭和58年5月 栃木県栃木市に手造り工場「チェリースモークハウス」を新設
- 昭和60年10月 栃木県栃木市に泉川ミートセンターを新設
- 昭和61年4月 栃木県宇都宮市に大谷天然熟成プラントを新設、イタリア式生ハムを製造開始
- 平成2年11月 日本証券業協会に店頭登録（現ジャスダック証券取引所）
- 平成6年11月 栃木県栃木市に泉川物流センターを新設
- 平成11年10月 栃木県下都賀郡大平町にデリカ工場を新設
- 平成14年9月 手造り工場を生ハム専門工場に改築しチェリースモーク工場に名称を変更
- 平成16年4月 宮城県角田市に仙南みらい工房ビッセン（仙南工場）を新設
- 平成17年1月 本店所在地を栃木県栃木市に移転
- 平成19年3月 栃木県上都賀郡西方町に西方工場「魁」を新設。



事業内容

- 当社グループは、食肉加工品（ハム・ソーセージ）、惣菜商品及び食肉製品の製造、販売を主な事業としております。

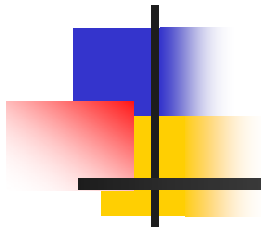
- 連結子会社
（会社名）

（資本金）

（事業内容）

株式会社テルマフーズ	60百万円	食肉及び食肉加工品の製造販売
株式会社ワールドフードサービス	20百万円	飲食業
株式会社泉川運輸	20百万円	運送業
株式会社菖蒲フーズ	20百万円	食肉及び食肉加工品の製造販売
栃木シー・エス株式会社	10百万円	畜産物加工処理請負
六合ハム販売株式会社	10百万円	食肉加工品の販売
株式会社前日光都賀牧場	20百万円	畜産業

平成20年3月期中間決算概要



平成19年12月
滝沢ハム株式会社
(ジャスダック・2293)



平成20年3月期中間決算の総括

- 当中間期は、前期より更に原料価格が上昇したことや原油価格高騰に伴う包装資材、燃料費等の生産コストが増加する中、業界の販売競争激化等により、業界を取り巻く環境は大変厳しい状況が続きました。
- 当社グループは、生ハム及び惣菜商品の生産能力を高めるため、栃木県上都賀郡西方町に西方工場「魁」を新設し、平成19年4月より稼働いたしました。生産面につきましては、不採算商品の統廃合、増産のためのライン化を行い生産性の向上を図りました。営業面については、厚木営業所と足立営業所を統合し、物流と販売の効率化を図りました。さらに、惣菜商品の販売強化を図るため、平成19年9月に惣菜専門店アロマテーブル足利店を新設いたしました。
- この結果、当中間連結会計期間の売上高は170億87百万円(前年同期比2.4%増)と増加いたしました。損益面につきましては、原料価格の上昇や新工場の新設によるコスト増加要因により、営業損失1億41百万円(前年同期1億13百万円の営業利益)、経常損失1億54百万円(前年同期79百万円の経常利益))となりました。中間純損益については、栃木市城内町の建物、泉川工場包装室及び厚木営業所等の固定資産除却損1億38百万円を計上したこともあり、中間純損失3億38百万円(前年同期2百万円の中間純損失)の計上となりました。

中間損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	19年9月期	18年9月期	比較増減	備考
売上高	17,087	16,693	394	
売上原価	14,455	14,006	449	
販売費及び一般管理費	2,773	2,574	199	販管比率+0.8%
営業利益	-141	113	-254	
営業外収益	59	27	32	
営業外費用	73	61	12	
経常利益	-154	79	-233	
特別利益	1	0	1	
特別損失	164	24	140	固定資産除却損138百万円(前年13百万円)
当期純利益	-338	-2	-336	

中間貸借対照表(連結)

(単位:百万円)	19年9月期	18年9月期	比較増減	備考
流動資産	8,198	6,961	1,237	たな卸資産+1,187百万円
固定資産	7,333	6,948	385	建物及び構築物+565百万円
資産合計	15,531	13,911	1,620	
流動負債	8,956	7,510	1,446	短期借入金+667百万円 買掛金+593百万円
固定負債	3,318	2,538	780	長期借入金+775百万円
負債合計	12,274	10,049	2,225	
資本金	1,080	1,080	0	
資本剰余金	824	765	59	
利益剰余金	1,343	1,910	-567	中間純損失338百万円
その他有価証券評価差額金	12	109	-97	
純資産合計	3,257	3,862	-605	

中間キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)	19年9月期	18年9月期	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	-270	363	-633	税金等調整前中間純損失-317百万円 たな卸資産-885百万円、仕入債務+664百万円 売上債権-488百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	-220	-168	-52	有形固定資産の取得-201百万円 有形固定資産除却費用-68百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	728	3	725	短期借入金の増加+750百万円
現金及び現金同等物の 増加額	238	199	39	
現金及び現金同等物の 期首残高	1,090	1,186	-96	
現金及び現金同等物の 期末残高	1,329	1,385	-56	

部門別売上高

(単位:百万円)

事業部門	19年9月中間期		18年9月中間期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
食肉加工品	6,256	36.6%	5,656	33.9%	600	10.6%
惣菜その他	2,361	13.8%	2,285	13.7%	76	3.3%
食肉	8,371	49.0%	8,642	51.8%	-271	-3.1%
その他	97	0.6%	108	0.6%	-11	-9.8%
合計	17,087	100.0%	16,693	100.0%	394	2.4%

食肉加工品

生ハム、国産原料のハム・ソーセージの売上高増加

惣菜その他

ハンバーグの売上高増加

食肉加工品

国産牛肉の売上高減少



平成20年3月期 業績予想



滝沢ハム株式会社



平成20年3月期 業績予想(連結)

(単位:百万円)	20年3月期予想	19年3月期実績	増減	備考
売上高	34,800	33,328	1,472	
経常利益	-110	43	-153	
当期純利益	-360	-200	-160	
EPS(円)	-35.05	-19.69	-15.36	
ROE(%)	—	—	—	

EPS=1株当たり当期純利益

ROE=株主資本利益率

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により、記載の業績予想と異なる結果になる場合があります。

経営方針と今後の取り組み

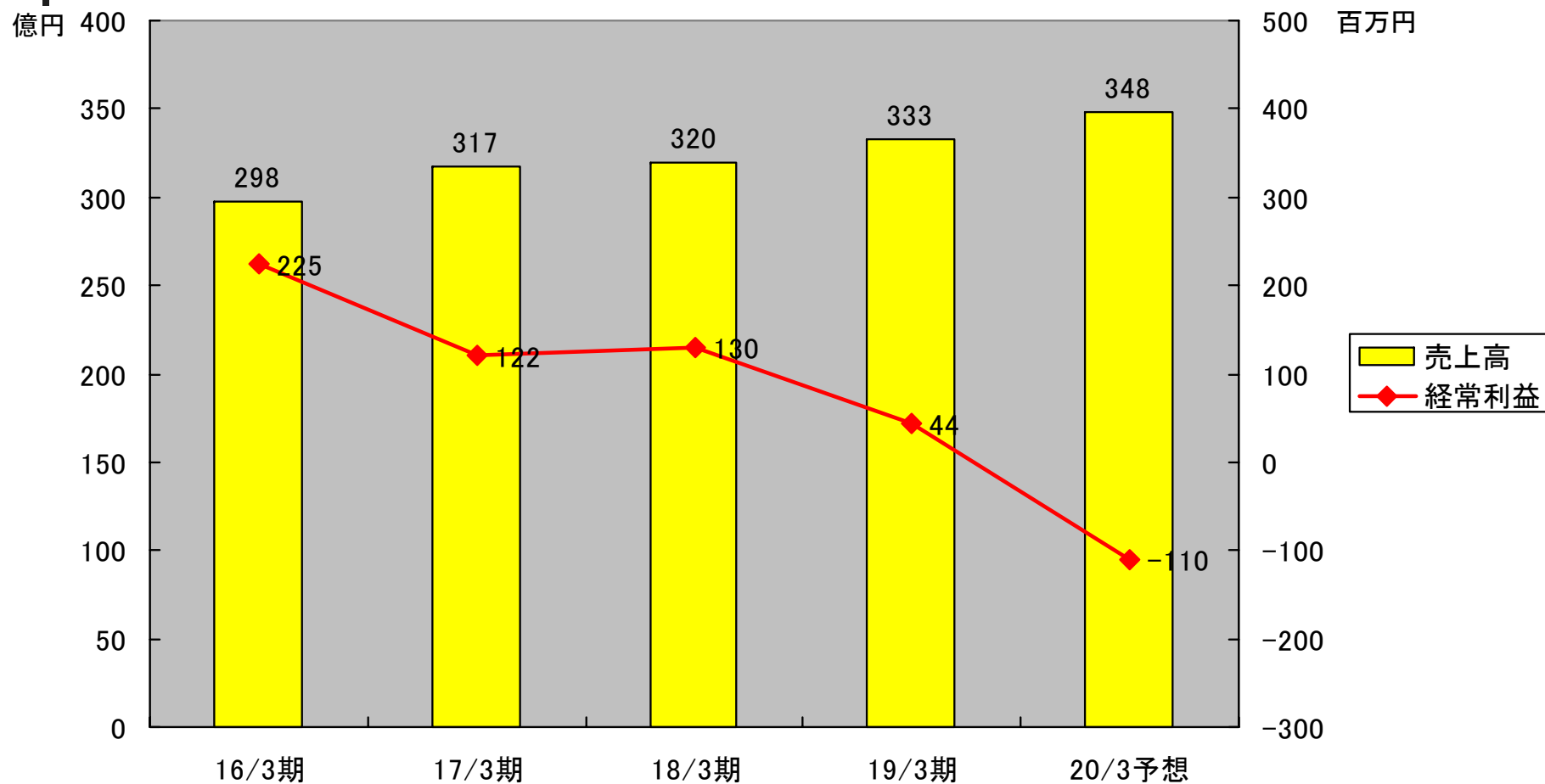
経営方針

「より良い食品を通じて食文化の向上と健康増進に貢献する。」を経営理念としております。お客様に対し、安全、安心で、よりおいしい商品を常に提供し続けてまいります。

今期の取り組み

1. 価格競争力の強化
(新商品開発、不採算商品の統廃合、製造コストの削減)
2. 仙台工場の統廃合
(泉川、仙南、西方の各工場への生産移管)
3. 惣菜部門の強化
4. 販売部門の効率化
4. 国産牛肉、豚肉のブランド力強化
5. 内部統制システムの確立

売上高、経常利益の推移(連結)





本資料に関するお問い合わせ

- 滝沢ハム株式会社
- 経営企画室
- TEL : 0282-23-5640
- E-mail: tk4903@takizawaham.co.jp